心臓外科

診療部長
白神　幸太郎

専門医資格等　心臓血管外科専門医
心臓血管外科修練指導者
外科専門医
京都大学臨床教授、非常勤講師
専 門 分 野　成人心臓大血管手術

□ スタッフ

平成30年10月1日時点

	氏　　名	専門医資格等	専門分野	得意疾患
医　　長	片岡　　剛	心臓血管外科専門医 外科専門医 脈管専門医	成人心臓大血管疾患	成人心臓大血管手術

□ 診療科の特徴

京都府南部地域における循環器疾患の基幹施設として機能すべく、2011年に開設。2013年までの実績により、心臓血管外科専門医認定機構より基幹施設認定を受けた。①心臓外科診療を通して人々のお役に立つ②手術や診療の透明性を確保する③循環器診療の最後の砦となる、という3つの診療指針の下、循環器内科、血管外科、救命救急科、麻酔科との緊密な連携を維持しながら安全な医療を提供するように努力している。

□ 主な対象疾患

虚血性心疾患（狭心症、心筋梗塞など）に対する冠動脈バイパス術
弁膜症（大動脈弁疾患、僧帽弁疾患など）に対する弁形成術や弁置換術、不整脈手術
大血管疾患（胸部大動脈瘤、急性大動脈解離など）に対する人工血管置換術、ステントグラフト内挿術

□ 診療（業務）内容

心臓大血管疾患の手術適応およびリスク評価を体系的にかつ厳密に行い、安全な手術治療を目指す。循環器内科、血管外科と共に心臓血管カンファレンスを行い、手術適応、術前リスクと治療方針の検討、周術期治療経過の報告を行い、治療の透明性を担保している。また緊急を要する症例について積極的に手術治療を行い、地域医療に貢献することを目標としている。

□ 診療実績（平成30年度）

入院患者数

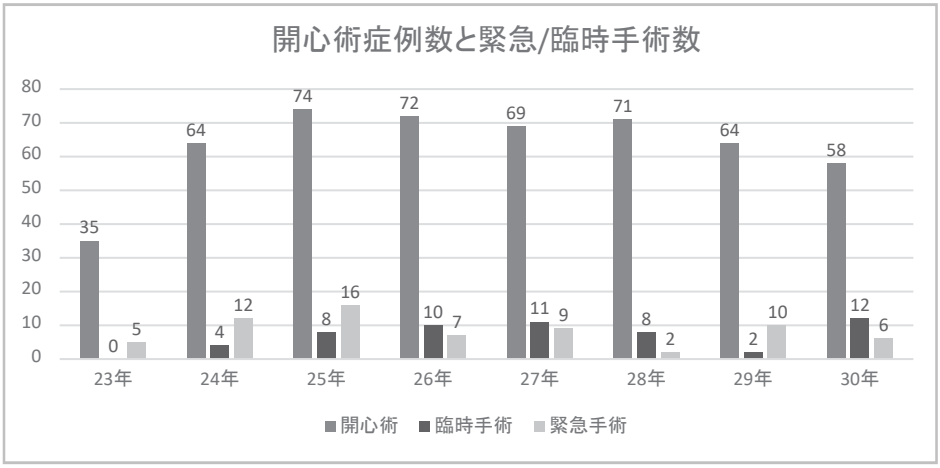
1日平均患者数	新入院患者数	平均在院日数
5.0名	66名	24.6日

外来患者数

1日平均患者数
5.7名

主な手術・検査の件数など（重複あり）

虚血性心疾患手術	心臓弁膜症手術	大動脈手術	ステントグラフト手術
23件	37件	12件	12件



手術実績：平成23年6月より手術を開始、その後の年次別手術症例数はグラフのとおりである。ここ数年年間開心術症例数は60-70件で推移している。

手術方針：当科の手術方針としては、以下の通りである。

①冠動脈バイパス術においては、可能な限り心拍動下手術を施行し、患者さんに与える手術の侵襲を最低限としながら最大限の効果を得ることを目標とする。

②心臓弁膜症に対して、特に僧帽弁手術においては、弁尖の硬化や石灰化が無い限り自己弁を温存する形成術を第一選択とする。大動脈弁については、弁尖や弁輪の石灰化のある症例が多く、確実な弁置換術を行う。

③大動脈手術は侵襲の低減化を図り、オープンステントグラフトや二期的ステントグラフト留置を組み合わせたハイブリッド手術も考慮する。

2018年度実績：2018年度は虚血性心疾患に対する手術23例、心臓弁膜症に対する手術37例、胸部大動脈に対する手術12例、ステントグラフト留置術12例（胸部大動脈1例、腹部大動脈10例）を思考した。単独冠動脈バイパス術は全例心拍動下に施行し、 off pump CABG10例、 on pump beating CABG4例で重症例が増加し体外循環使用症例が増加した。心停止下手術に併施した冠動脈バイパス術は9例であった。心臓弁膜症においては可能な限り弁形成術を行うが、37例の症例において弁形成を行った弁は24弁、弁置換を施行した弁は25弁であった。大動脈手術12例のうち、急性大動脈解離に対する緊急手術は5例に、弓部大動脈に対するオープンステントグラフトは2例に施行した。これらの手術症例のうち、大動脈弁狭窄症（一尖弁）と狭心症に対して大動脈弁置換術、冠動脈バイパス術、心房細動手術を行った一例を致死的不整脈による突然死にて失った。

治療成績：当科における2018年の手術成績を全国データベースと比較すると、以下の通りである。これは当科手術患者の臨床データから予測される院内死亡率、および死亡と術後合併症の発生リスクを実際の成績（太字）と比較したものである。当科の手術患者の重症度は高く、予測死亡率も高いが、概ね予測死亡率を下回る成績を維持している。 2018年の死亡症例は1例のみであった。

	手術死亡	予測死亡率	死亡+主要合併症	予測発生率（死亡+主要合併症）
冠動脈バイパス術	**0%**	3.68%	**0%**	13.92%
心臓弁膜症手術	**3.57%**	8.02%	**3.57%**	21.37%
大動脈手術	**0%**	12.44%	**0%**	31.84%

□ 地域医療連携・広報活動

医師会、救急隊を通じての広報活動を行い、他院循環器内科とも積極的に協働している。院外からの手術目的紹介症例は年々増加している。

□ 学術活動報告（学会・研究発表など）

分類	演者（当院）	タイトル	学会名	開催地	発表年月日	会期
国内学会	片岡　剛　浅田秀典 白神幸太郎	下腿以下への血行再建を要する重症下肢虚血に対して、Inflow確保目的に体側外腸骨-同側膝窩動脈Crossover bypassを行った2例	第46回日本血管外科学会学術総会	山形市	2018.5.9	2018.05.09 ～ 2018.05.11
国内学会	片岡　剛　白神幸太郎 浅田秀典	炎症性と考えられた上行大動脈多発嚢状瘤の1例	第59回日本脈管学会学術総会	広島市	2018.10.25	2018.10.25 ～ 2018.10.27
国内学会	片岡　剛　白神幸太郎 浅田秀典	解離性大動脈瘤破裂に対して、TEVAR+Candyplug法によってエントリーを閉鎖し、破裂偽腔の血栓化と瘤の縮小化に成功した1例	第72回国立病院総合医学会	神戸市	2018.11.10	2018.11.09 ～ 2018.1.27
国内学会	片岡　剛　白神幸太郎 浅田秀典	心臓、副腎、頸動脈小体に多発した傍神経節腫瘍の1摘除例	第49回日本心臓血管外科学会学術総会	岡山市	2018.2.13	2018.02.11 ～ 2018.02.13
研究セミナー・シンポジウム等	片岡　剛　白神幸太郎 浅田秀典	心臓、副腎、頸動脈小体に多発した傍神経節腫瘍の1摘除例	第55回　京滋心臓血管外科研究会	京都市	2018.2.23	2018.2.23

□ 投稿論文など

分類	著者（当院）	タイトル	著書・雑誌名	vol.	No.	page	編集者等	出版社	発行年月
英文論文 （筆頭著者以外）	白神　幸太郎	Early surgery vs. surgery after watchful waiting for asymptomatic severe aortic stenosis	Circulation Journal	82	10	2663-2671			2018.10